



新潟県 支部 報

'80年 5 月20日

No.7 (春)

(財) 日本野鳥の会新潟県支部

昭54年度総会開催

昭和54年度の総会が4月19日～20日の両日に渡り村上市瀬波温泉において探鳥会を兼ねて盛大に開催されました。

19日は夕食後総会を行ない、議長に清野展氏を選び議事進行。開会のあいさつで加藤支部長は支部発足後3年経過しこれから本番である旨話された。次いで昭54年度の事業報告、決算報告が審議され満場一致で承認された。また規約を一部改正し新たに賛助会員制度を設けた。さらに昭和55年の事業、予算案が提案され熱気のこもった質議が展開されました。最後に役員改選で加藤支部長は、今まで暫定的に役員をやっていたがこれからは支部全体に新風を入れしっかりとした基盤作りをやっていただける人選を望むとの強い要望があつていろいろ討論を重ねた結果下記の通り新役員が決定いたしました次第です。総会終了後は談話会、懇親会に移りいっもながら夜のふけるのも忘れて意見交換しまし

た。翌20日は天候に恵まれ5時より2コースに分かれ探鳥会を行ない、山のコースではミサゴの雄姿を、海のコースでは昨日出現したアリスイをそれぞれ観察しました。朝食終了後、村上市の郊外にあるウミネコ繁殖地を訪れ、地元の宮越一俊氏からお話を伺いました。温泉につかり、珍鳥などの出現やウミネコの繁殖地などじっくり観察することが出来参加者一同満喫した様子。幹事役の千葉副支部長 地元の宮越さんありがとうございました。



(総会、探鳥会参加者)

小野島 学、太田ミツ、瀬尾信雄、澄子、古川八重子、塚越大助、雍英、清野 展、加藤忠一、千葉 晃、目黒きみ、羽下キョイ、白井康夫、佐藤一平、木下 弘、佐藤 弘、曾我信男、山谷正喜、星野元郎、大島 基、宮越一俊、常山秀夫、理人、深井浩一、風間辰夫、小池重人、本間隆平、小松吉蔵、キノ、小野絹子、吉川吉枝、齊藤久夫、渡部 通。

(昭55年度運営委員)

◎支部長～大島 基

◎副支部長～山本 明、千葉 晃

◎幹事

小林成光、瀬尾澄子、小野島 学、小池重人、渡辺 央、小野絹子、木下 弘

◎会計監事

小松吉蔵、山谷正喜

◎事務局長～渡部 通

上記のように新役員が決定しました。役員一同支部会員の手足となつてがんばる決意です。また、支部の基礎作りに奔走された加藤前支部長はじめ前幹部の皆様ご苦勞様でした。今後共御指導を賜りますようお願い申し上げます。

新支部長としての抱負

支部長 大島 基

初夏を迎え夏鳥たちもあざやかな色彩で森の中を飛びかい美しいさえずりを聞かせているこ

の頃です。皆様にはますますお元気にてお過ごしのことと存じます。さて、去る4月19日に県支部の総会が開催され、54年度の議事承認、55年度案の承認とスムーズに進行しましたが、最

後の役員改選では前支部長加藤忠一氏より「支部結成時より3ヶ年経過した今日、暫定役員ではなく、新規に若返りを図りつつ新たな支部長を望む」との断固とした辞任の弁により、役員改選は一時紛糾いたしました。しかし種々の手続き等は皆様の協力でスムーズに運ばれました。ところが、どういう訳か新支部長に私が推挙されました。私も一身上の理由により又、重責を果たす自信が全くないとの断固ご辞退申し上げましたが已無きに至りました。

探鳥会の結果報告

◎寺泊港探鳥会

2月17日、大雪の影響で懸念されたが、まずまずの天候で確認鳥も20科40種を数えた。

(参加者)

石部 久、大島 基、太田 実、小野島 学、小野絹子、伊藤卓夫、小林桂治、渡辺弘雄、



庭の野鳥たち

中之口村 野沢生男・太郎

79年暮から、シメが1羽当家の庭を訪問し、カエデの実を食べつくしてしまいました(写真)。給餌してもヒヨドリ夫妻とムクドリに横取りされてしまいます。どんな方法でどんな餌をやればよいかわからず御教示いただけたら幸いです。それにしてもシメ君のあのずんぐりした体つき、太い口ばしで音を出しながら食べる動作など大変可愛いものですね。裏庭にはアオゲラ夫妻がやって来て、北西の下見板に穴をあけました。天上裏に共鳴して丁度金槌で打っている様な大きな音です。キツツキの事だからと黙認していたところ、またたく間に4ヶ所もあけてしまいました。大喜びなのはムクドリです、たちまち大群がやって来てねぐらに使用し

私も皆様と同様野鳥を愛し、会の発展を願う一人です。推挙された現在、支部の進む道をしっかりと見極め、これを推進する経済的問題、人的問題等、速やかに解決すべく新役員の方々と共に英知を結集し、まい進したいと考えます。全員参加のもとに私たちのすばらしい自然を守り、さては愛鳥精神の啓蒙と心の拠所となるような新潟県支部をつくって行きたいと望んでおります。皆様方から御指導、御叱正をいただけたらこの上ない喜びと思っております。

吉川吉枝、本間隆平、星野元郎、丸山伸彰、渡辺 央、常山秀夫、塚越大助、塚越雅英、千葉晃、高橋秀恵、木下 弘、熊倉了一、柳瀬昭彦、小松吉蔵、佐藤 弘、瀬尾信雄、瀬尾澄子、竹内 武、高辻 洋、高綱 勉、大橋 徹、小林成光、目黒きみ、丸山秀子、丸山里永子、遠藤敏雄、平野大次、大橋 悟、町田喜彦、渡部 通。

◎瓢湖探鳥会

ミコアイサの貴婦人を思わせるような美しさ。たった1羽だけだったトモエガモの♂を観察したり、3月2日は天候にも恵まれ、午後からは吉川繁男氏の講話に耳を傾けたり豊富な1日であった。

(参加者)

熊倉了一、塚野金松、藍沢 司、羽下キヨイ、佐藤 弘、白井康夫、斉藤久夫、瀬尾信雄、瀬尾澄子、涌井 茂、間野 栄、笠原喜一、星野元郎、樋口雅春、箕口秀夫、原田芳子、青木寿子、渡部 通、他一般参加7名。

てしまいました。道路を隔てた駐車場にはセキレイ(父はハクセキレイ、小生セグロセキレイと見解)がスマートな足どりで遊んでいます。夕暮時、オナガが群れを作って飛んでいるのも観察されます。4月6日、裏庭でウグイスが初鳴きをしてくれましたがこれからは初夏の訪れとともに夏鳥たちが沢山当家の庭におとづれることでしょう。



探鳥手帳・探鳥会のご案内

●探鳥会に行こう

探鳥会は日本野鳥の会のトレードマーク。野鳥に会いに野山や川原、そして干潟などに出かけ、鳥たちの姿や声を自然の中で楽しむ会のこと。すてきなリーダーが野鳥と楽しくつき合うコツなどを、いろいろ教えてください。町中の公園や神社の森で行われる散歩型探鳥会、ちょっと足をのばして郊外を歩くハイキング型探鳥会、高い山まで出かけて鳥を見る山男、山女型探鳥会など、日本野鳥の会の探鳥会はさまざまです。大人も子ども、男の人も女の人も、だれでも自由に参加でき楽しさも倍増します。さらにすばらしいことは、一度に何人もの鳥好きの仲間が出来てすばらしい出会いがあることです。

●野外でのコツ

あいさつしたくても、実際に野外で相手が見つからないのではどうしようもありません。彼女たちとのおつきあいの工夫をいくつかご紹介しますと。

ききなし

新緑の野山にすばらしい野鳥のコーラス。美しいさえずりも覚えようと思っても感じがつかみにくいもの。そこで節まわしを覚えるために生まれたのが「聞きなし」です。野鳥の鳴き声を人間流に翻訳してしまうのです。

- 一筆啓上仕り候・サッポロラーメンミソラーメン（ホオジロ）
- 土食って虫食ってしぶーい（ツバメ）
- 月日星ホイホイホイ（サンコウチョウ）
- 焼酎一杯グイーッ・ちかれたビー（センドイムシクイ）

さあ、一年で最も探鳥によい季節を迎えます。各地の探鳥会へふるって御参加下さい。

- 1) 日時、5月31日(土)～6月1日(日)鯖石ダム探鳥会。5/31(土) 柏崎駅前へ夕方17時30分頃まで集合のこと。マイクロバスで現地まで行きます。
- 2) 場所、柏崎市鯖石ダム周辺の初夏の野鳥をたずねる。
- 3) 持物、図鑑類、雨具、双眼鏡、筆記具一式、カメラなどがあると便利、その他各自。
- 4) 参加費、マイクロバス無料、一泊二食付で男4,300円、女、子供3,800円です。
- 5) 日程、5/31(土)柏崎駅出発17時30分～宿舎着

18時30分、19時10分に夕食及び懇親会その後スライド、16mm映写大会。消灯はおおむね20時頃。6/1(日)朝4時起床の後探鳥会、7時30分に朝食をしてその後鳥あわせ意見交換などを予定、8時45分現地出発～約1時間で柏崎駅到着(9時45分頃)その後解散。

6) 宿舎、門出観光会館(鯖石ダム畔)

7) 雨天の時、小雨決行

8) 連絡先、参加ご希望の方はハガキか電話でお願いします。柏崎市北園町20～45、小林成光(02572(8)9063)まで。

- 1) 日時 6月15日(日) 山野の野鳥を見る会、
- 2) 場所 青田～朝日山裏～国見平～南波山の各コースを歩いて観察します。
- 3) 集合時間など、上越市高田公園、弓道界脇駐車場に午前5時頃まで集合して下さい。午前中解散の予定。
- 4) 持物など、図鑑類、双眼鏡、雨具、朝食の用意も、その他各自。小雨決行です。
- 5) 連絡先、上越市古川弘(0255(24)9617)まで。

- 1) 日時 7月6日(日) 妙高々原と妙高山探鳥会。
- 2) 場所と集合時間等。
中頸城郡妙高村の妙高々原と妙高山々麓。
国民宿「関山荘」前に午前4時30分集合。
- 3) 交通等、道路の状況は良好ですし、駐車場も広いのでマイカーの相乗りが良好。マイカーの方は18号線で関、燕温泉入口の看板から山へ入って下さい。約10分で宿舎着。バスを利用される方は関山駅から1日6便が出ておりますので御利用下さい。
- 4) 宿泊等。国民宿舎がありますので、事前に申込みをします。宿泊される方はご連絡下さい。宿泊先：国民休暇村関山荘025582-3168。
宿泊料金：大人4,800円、小学生以下4,000円
- 5) 探鳥会のハイライト等。

コルリ、クロジ、コマドリ、ルリビタキ等の他にイヌワシなども見られます。

- 6) 持ち物。昼食(宿泊される方は不要)図鑑類、雨具必携、山行の支度、小雨決行、その他各自。
- 7) その他

申込締切 6月28日厳守

宿泊の申込みと詳細は事務局か上越市

山本 明 (0255(24)6881)まで。

昭和55年のウグイス初鳴調査結果

県内のウグイス初鳴調査結果は図表の通りですが、くまなくアンケートをとることができなかったことが残念です。報告をお寄せいただい



県内のウグイス初鳴分布前線図

各地の鳥だより

各地の担当者または事務局宛今後も気がるに、鳥だよりを送って下さい。今号は冬鳥、旅鳥、夏鳥とさまざまな記録を掲載いたしました。

◎下越ブロック

コイカル♂2羽、'79、12、15 西蒲味方村、ハイイロチヌウヒ♀1羽、'79、12、16と'80、3、16、豊栄市福島、オジロワシ2羽、'80、3、20、大河津分水〜与板橋の中州、(以上観察者、木下 徹)

ミヤマホオジロ♂1羽、'79、12月上旬、ミヤマホオジロ♂1羽、'80、2、9、ミヤマホオジロ'80、2、14、♂2羽♀1羽、ベニヒワ±20羽、'80、2、16、いづれも新潟市五十嵐浜で、(観察者 箕口秀夫) アリスイ、'80、4、19、村上市瀬波温泉(観察者、宮越一俊、他県支部会員数名) ノゴマ、'80、4、25 北蒲中条町(観察者、熊倉了一) クマタカ、'80、4、26岩船郡朝日村(観察者 宮越一俊) オオジシギ、'80、4、20 新潟市太夫浜。(観察者 吉川吉枝、太田ミツ、小野絹子、瀬尾信雄、澄子) ツバメ初認 五泉市早出川橋 '80、4、1(観察者 熊倉了一) イワツバメ初認 '80、3、30、東蒲津川町、オオタカ2羽、ノスリ2羽、ミンサザイ5羽、コガラ(多)、ヒガラ(多)、ヤマガラ2羽、マガモ4羽、'80、4、5、津川町本尊岩、オオルリ初認、'80、4、27、キビタキ初認、同、東蒲

た方々に感謝いたします。尚佐渡では例年3月下旬に記録されている旨佐藤春雄氏から御報告がありました。野鳥8月号には全国の記録が発表されます。(W)

新潟県内のウグイス初鳴観察記録 (1980年)

月 日	観 察 場 所	観 察 者
3月27日	西蒲原郡巻町角田浜	渡 部 通
4月2日	三島郡与板町与板	渡 辺 弘 雄
4月3日	新津市秋葉山	熊 倉 了 一
4月5日	糸魚川市中央区3反田	小 野 絹 子
4月5日	南魚沼郡六日町野中	木 下 弘
4月5日	西蒲原郡中之口村六分	野 沢 生 男
4月8日	上越市東城町	山 本 明
4月8日	柏崎市高柳	伊 平 清 士
4月8日	柏崎市赤坂町	栗 林 達 彦
4月10日	十日町市江道	関 口 愛 吉
4月11日	東蒲原郡津川町きりん山	斎 藤 久 夫
4月12日	上川村木戸口	加 藤 忠 一
4月12日	東頸城郡松代町	関 谷 八 郎
4月18日	三島郡越路町岩田	西 沢 一 郎
4月18日	南魚沼郡塩沢町仙石	木 下 弘

津川町(以上観察者 渡部 通)

ハジロカイツブリ夏羽1羽、'80、3、30 新潟東港、ハイイロチヌウヒ1羽、ノスリ5羽、同日、豊栄市福島、(観察者 佐藤 弘)

◎中越・魚沼ブロック

ツバメ初認、'80、3、18、三島郡寺泊町、(観察者 星野元郎) ツバメ初認、'80、3、20 長岡市内、(観察者 目黒きみ) ツバメ初認、'80、3、27 南魚沼郡塩沢町(観察者 木下 弘) ツバメ初認、'80、4、6 三島郡越路町(観察者 西沢 一郎) サシバ、'80、3、23 長岡市おづみ温泉、コアシサシ、'80、4、10 長岡市長生橋中州、エリマキシギ♂1羽、'80、4、11長岡市浜海川河口、(観察者 塚越大助) オオワシ若鳥1羽、'80、3、15、20、23、長岡市信濃川、ハヤブサ1羽、'80、3、30、場所同じ、(観察者 高綱 勉) エリマキシギ2羽、'80、4、11、長岡市信濃川、ノビタキ♂1羽、'80、4、22 場所同じ。ノゴマ♂2羽、'80、4、25 場所同じ。悠久山では、アオサギ、ゴイサギ、コサギの繁殖状況が例年通り進行中。また名物のサクラが冬期間のウソの食害によってバラバラの状態。(観察者 渡辺 央) ツバメについて(六日町の調査地内)ー 本年の初認('80)3、27 昨年の初認、3、19 本年の初初卵日 4、24、昨年の初初卵日、4、9 本年5、3日まででは渡来期が遅れており、渡来

個体数なども少なく、これからどれ位渡ってくるか心配です。その他の鳥だよりとしては、クロツグミ、'80, 4, 18 南魚沼郡塩沢町、オオルリ、'80, 4, 25 同郡六日町、オオルリ、'80, 4, 30 同郡塩沢町（以上観察報告者 木下 弘）

◎上越ブロック

オジロワシ幼鳥初認、'79, 12, 16 東頸朝日池、ハイイロチユウヒ♀1羽、チユウヒ♀1羽 '80, 1, 15 鶴ノ池付近の田で。ハイイロチユウヒの腰の白が鮮明にわかった。シロカモメ1羽オジロワシ1羽、'80, 1, 31 直江津港関川河口（低気圧の通過で海は大荒れの状態）

ミヤマホオジロ♂♀1羽、上越市春日山、コミミズク1羽、直江津港そばの砂浜でいずれも '80, 3, 29 ワシカモメ1羽、'80, 4, 2 直江津関川河口、以上この冬の特に印象深いものをお知らせしました。（観察者 古川 弘）

ツバメ初認、'80, 4, 5 （昨年4, 1）東頸松代町。昨年は小雪のためか4, 23日にカシラダカの大群を見ることが出来ましたが、今年はまだ群れもみられません。ブナの芽ぶきも少なく野鳥たちも遠慮しているようで、特に松代町の鳥ノジコも姿を現わしません（4, 24 現在 観察者 関谷八郎） イワツバメ初認3羽、

80, 3, 24 西頸青海川、ツバメ初認、80, 4, 11 糸魚川市内、インソヒヨドリ、'80, 4, 8 西頸青海町、ハマシギ '80, 3, 16 西頸青海町姫川、コルリ '80, 4, 29 糸魚川市原山（観察者 小野 絹子）

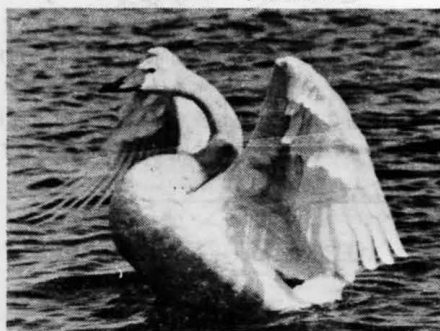
一寺泊探鳥会で一

海を遠く離れた所に生まれ育った私には冬の海はことの外珍らしく驚きの日でした。

入江には色々な鳥が現われ、カモメの群舞、ミユビシギ、シロカモメ、クロサギなどなつかしい鳥もあり、初会見の鳥もあり、いつか再び鳥たちに会いに訪れたいと思いました。

さいかいの越路の浜や、みゆびしぎ

（長岡市 目黒きみ）



鳥の見方について

上川村 小池 重人

今回、幹事に選ばれましたが私でできる限り頑張りたいと思います。そこで県支部の活動について私の基本的な考えを述べさせていただきます。当然の事ですが、私たちの会は鳥を見て楽しむということを軸に成り立っています。そこで内容を初心者への指導、調査研究、野鳥保護の3点について稿を進めていきたいと思います。さて、従来多くの探鳥会は小数の指導者が多数の人達を連れ、出現した鳥の種類を数えるだけだったり、珍しい鳥を探す傾向があった様に思います。そこには初心者に対する配慮が欠けているような気がしてなりません。もっと参加者の観察力を考え、パンフレットを作ったりしっかりとした計画を立てて指導する必要があると思います。その際、誰でもがお互いに教え合うふんいきも大切です。観察する場合、私はどこにでもいる種を大切にしたい。これらは、いつどこでも観察できて、興味を深めやすいからです。例えばシジュウカラはよく観察してみると繁殖期のなわばり争い、育雛、冬期の群形成など多様な生活を知ることができます。又ある程度識別が可能になったら、ごく普通な種の生活をじっくり見ることをお進めしたい。

調査研究については、先程のべたように身近な場所で身近な鳥の行動や生活をじっくり観察し、その中で生まれた素朴な疑問を解決してゆくとか、その種の生活を知りたいという理由等で本格的な調査を始めてほしいと思います。そうしてこそ、いろいろな調査方法が、問題を解決する重要な手段となってくると考えます。ある地域、ある種を保護しようというとき、十分な基礎資料が必要とされます。その一つとして分布や個体数の状況は重要なものであり、今まで県内でも調べられてきた。しかし、個体数調査の多くはラインセンサスだけで、ある程度の事はわかるが、これがどれだけ実際の個体数を反映しているかはわかりません。たとえ分布や個体数の調査が充分なされたとしても、それだけでは鳥の保護の基礎資料としては不十分だと思います。なぜならある種を保護しようとするときは、その種の生活を知ること非常に重要になってくるからです。

以上述べてきたことから考えますと、野鳥を見て楽しむためにも、調査研究や野鳥保護のためにも、身近な場所で身近な鳥をじっくり観察していくことがこれから大変重要であると思われます。県支部内でその様な基礎資料を作ろうという機運が高まりつつあり、私もその一員として皆さんと一緒にがんばりたいと思っています。

新入会員の紹介

下記の方が、新入会員となりました。探鳥会でお待ちしております。鳥だより、写真など気がるに送って下さい。今後ともよろしく。

- 140 高綱 勉 940 長岡市城岡町3丁目12番36号
- 141 大橋 徹 945 柏崎市大字枇杷島4652の79 米山団地
- 142 涌井 茂 959-21 北蒲原郡水原町外城町12の4
- 143 武田 誠 945-02 柏崎市矢田1334
- 144 松原隆志 945 柏崎市東本町3丁目13番7号
- 145 中島久次郎 951 新潟市関屋御船蔵町12
- 146 清水はつえ 940 長岡市中央1丁目7番7号
- 147 羽下キヨイ 959-16 五泉市東栄町220の2
- 148 本間勝利 959-12 燕市南4丁目3番24号
- 149 高井和佳子 954-01 見附市今町1丁目17番10号
- 150 神林 弘 947-01 小千谷市片貝町茶畑6334番
- 151 杉茂太市 949-54 三島郡越路町来迎寺乙320番地
- 152 小川耕市 958 村上市二之町5-2 県職員寮緑山荘内
- 153 池田国夫 942 中頸城郡頸城村西福島228-37
- 154 城沢 忠 946-03 北魚沼郡入広瀬村穴沢132
- 155 関 正郎 951 新潟市文京町13の6

住所変更・訂正

- 柴田正裕、電話訂正 025875-3131 に。
- 竹内 昇、947 小千谷市中央通7
- 樋口雅春 947 小千谷市上山町5丁目1838番地
- 修理総一郎 959-04 西蒲原郡西川町 二区 高橋アパート5号室

事務局からのお知らせ

初夏を迎えて、森の中からキビタキやコサメビタギ、クロツグミなど、谷筋からはオオルリ、エゾムシクイなどのコーラスが 風に運ばれて実にすがすがしく感じます。皆様いかがお過ごしでしょうか。青葉の中、各地で行なわれる探鳥会へぜひおいで下さい。

◎別記の通り探鳥会を開催します。多数の方々

のご参加をお待ち申し上げます。

◎昭55年度の会費を納入下さい。同封の振替用紙を活用下さい。1ヶ年1,000円です。尚既に納入いただいた方にも同封しましたが別途送金時ご利用下さい。

◎身近かな鳥だよりをお寄せ下さい。ハガキで結構です。原稿の方もどしどしお寄せ下さい編集スタッフ一同心まちしています。

◎本年度2回目の幹事会が長岡市で開かれる予定。主に運営等について打合せします(6月1日(日))

編集後記

いつもながら多くの方々から投稿をいただき感謝感激です。今号から字画を1ポイント小さめになりました。感想をお聞かせ下さい。すばらしい季節です。探鳥会でお会いいたしましょう。

(編集担当 小野島 学)

日本野鳥の会新潟県支部報 第7(春)

発行 昭和55年5月20日

編集 小野島 学

発行所 (財) 日本野鳥の会新潟県支部

〒959-44

新潟県東蒲原郡津川町三郷乙1193番地

電話 02549(2)2956・(2)5045 渡部 通方

振替 新潟6002

会費 年額 4000円(本会費とも)